

アブシジン酸液剤の果房散布は ブドウ「ピオーネ」の果皮着色の促進に有効である

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ブドウ－品質・食味

2 担当者名

尾形亜希子、小松健太郎、阿部初紀、岡田初彦

3 要旨

近年の温暖化傾向により、ブドウの果皮の着色不良が問題となっている。ブドウ「ピオーネ」の着色始期に、アブシジン酸液剤（商品名：アブサップ液剤）100倍希釈液を果房に散布すると、果皮の着色促進に有効であることが確認できた。

- (1) ブドウ「ピオーネ」（露地栽培）の果房において、数粒ほど色が入ってきた果房に、アブシジン酸液剤100倍希釈液をハンドスプレーを用いて1果房当たり約8ml散布したところ、散布した果房は、果皮色の向上が確認された。（図1、表1）。
- (2) 本試験では、酒石酸含量は散布した果房で低かったが（表1）、着色が先行しやすいことから、果皮色だけでなく食味を確認して収穫時期を判断する。
- (3) 果粉の溶脱や着色ムラを防ぐため、散布の際は果房全体に均一に噴霧する。
- (4) 薬剤の使用に当たっては、登録内容を確認し、使用基準を遵守し、必ず果房だけに散布する。

表1 ブドウ「ピオーネ」におけるアブシジン酸液剤が果実品質に及ぼす影響

区	果皮色 (C.C)	果房重 (g)	平均粒重 (g)	糖度 (°Brix)	酒石酸 (g/100ml)
散布区	9.5	498	14.1	17.6	0.42
無散布区	5.1	481	13.4	17.5	0.50
有意差	**	n.s.	n.s.	n.s.	**

注1) *は5%水準、**は1%水準で有意差あり。n.s.は有意差なし。

注2) 果皮色は果実カラーチャート値「ブドウ 赤・紫・黒色系 (0 (低着色) ~ 12 (高着色))」。



図1 収穫時のブドウ「ピオーネ」の着色
上段：散布区、下段：無散布区

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4～5年度
- (2) 研究課題名 安全で効率的な新農薬・新資材等の実用化、温暖化に対応した果樹の生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料 なし